

# クマノゴケ

*Theriotia lorifolia*

キセルゴケ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 |



丘陵地や低山地の溪流辺で、しばしば水しぶきがかかる岩上に着生している。本県では生育する量は、それほど多くはないが、生育地はかなり広範囲に分布している。また、本種が生育する谷川の上流は、民家や農耕地などが少ない源流域となっていて、環境の安定している所が多い。谷部の森林の伐採による乾燥化、大雨による土砂の崩壊や流失などの自然災害で、生育状態の悪化が懸念される。

(写真・文：大塚政雄)

**県内分布** 耶馬溪地区，大野川上流域，祖母・傾山地，北川上流域

**分布域** 本州，四国，九州

朝鮮半島，中国，インド，パキスタン